



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月27日

上場会社名 ブルドックソース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2804 URL <https://www.bulldog.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石垣 幸俊
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 鈴木 美奈子 (TEL) 03(3668)6821
 四半期報告書提出予定日 2023年2月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	10,220	1.5	326	△33.8	1,052	23.9	657	11.9
2022年3月期第3四半期	10,073	—	493	△34.2	849	△19.0	587	△19.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 662百万円(167.6%) 2022年3月期第3四半期 247百万円(△72.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	49.26	—
2022年3月期第3四半期	43.77	—

前第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。このため、2022年3月期第3四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	29,905	20,316	67.9	1,522.29
2022年3月期	29,763	20,139	67.7	1,509.03

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 20,316百万円 2022年3月期 20,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2023年3月期	—	17.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	1.5	270	△58.6	980	△3.3	570	△20.5	42.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,954,880株	2022年3月期	13,954,880株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	608,809株	2022年3月期	608,762株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	13,346,113株	2022年3月期3Q	13,419,837株

※当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2022年9月に、ブルドックソースは「創業120周年」を迎え、また、次の新たなステージ（海外への展開と事業領域の拡大）に向けグループを磨き上げるため、グループ力・社員力の最大化を目標とした「第10次中期経営計画『B-UP120』」（2020年度～2022年度）の最終年度として、①資本・財務戦略Brush UP（資金循環の活性化）②生産体制Brush UP（生産性向上に向けた大型投資）③マーケティングBrush UP（未開拓・手薄領域へのチャレンジ）達成に向けて取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)は、インバウンド消費や全国旅行支援等が後押しし国内経済の回復が期待されたものの、個人消費はエネルギー価格、食品や日用品をはじめとする物価上昇により節約志向が強まり、依然として先行き不透明な状況であります。当社グループにおきましては2022年6月に一部商品の価格改定を実施しました。価格改定直後は商品の販売数量が伸びず厳しい状況が続きましたが、10月以降は徐々に販売数量も増加し、売上も回復傾向にあります。「ソース類(ウスター・中濃・とんかつ・専用他)」の売上は新商品の「旨辛ソース200ml」や健康志向ソース類、お好み・焼そばソースが伸長したものの、前年同期比1.4%減の60億1千6百万円となりました。また「ドレッシング類・たれ・ケチャップ」の売上においても「&Bull-Dogシリーズ」の「たっぷり薬味焼肉のたれ(きざみにんにく醤油・本格コチュジャンみそ240g)」や「素材を味わうドレッシング(すりおろし野菜・焙煎ごま・和風たまねぎ・イタリアン200ml)」が順調に推移しましたが、材料セットの回復が遅れ、前年同期比1.4%減の13億6千9百万円となりました。一方、「業務用商品」はイベントの再開や外食の回復が寄与し、デリカ向け商品の新規メニュー導入により、売上は前年同期比9.8%増の28億3千4百万円と伸長しました。この結果、当第3四半期連結売上高は前年同期比1.5%増の102億2千万円となりました。

利益面では、記録的な原材料・燃料価格などの高騰が続き、特に主要原料であるトマトなどの野菜・果実類、砂糖類、塩などの値上がりが大きく影響し、営業利益は前年同期比33.8%減の3億2千6百万円となりました。経常利益につきましては保有株式売却による投資有価証券売却益を計上したことから、前年同期比23.9%増の10億5千2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11.9%増の6億5千7百万円となりました。今後も原材料、燃料価格の上昇は続く予想され、2023年2月に再度一部商品の価格改定を実施いたします。外食・中食市場の需要拡大に向けた商品提案や内食市場の変化に対応した商品や販促提案に努め、また、一層の生産性向上等により利益の改善に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期連結会計期間より、富留得客食品(上海)有限公司を当社グループにおける重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1億4千2百万円増加し、299億5百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が減少したものの、売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて4億1千9百万円増加し、102億1千3百万円となりました。

固定資産につきましては、保有株式売却による投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べて2億7千7百万円減少し、196億9千2百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて3千4百万円減少し、95億8千9百万円となりました。

流動負債につきましては、設備代金支払により未払金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べて23億6千6百万円減少し、49億5千万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて23億3千2百万円増加し、46億3千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて1億7千6百万円増加し、203億1千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年10月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,591	3,546
売掛金	4,391	5,096
商品及び製品	580	1,123
原材料及び貯蔵品	137	217
仕掛品	14	20
その他	78	209
流動資産合計	9,793	10,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,296	2,310
機械装置及び運搬具（純額）	1,898	1,800
土地	2,784	2,784
建設仮勘定	4,361	4,308
その他（純額）	120	195
有形固定資産合計	11,460	11,400
無形固定資産	33	65
投資その他の資産		
投資有価証券	7,544	7,370
繰延税金資産	183	180
その他	756	683
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	8,475	8,226
固定資産合計	19,969	19,692
資産合計	29,763	29,905

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,477	2,058
電子記録債務	321	445
短期借入金	30	310
1年内返済予定の長期借入金	196	362
未払法人税等	194	169
未払金	3,584	130
未払費用	1,240	1,273
賞与引当金	184	98
その他	87	101
流動負債合計	7,317	4,950
固定負債		
長期借入金	502	2,833
繰延税金負債	805	764
退職給付に係る負債	899	949
役員株式給付引当金	32	32
執行役員退職慰労引当金	41	35
長期末払金	15	15
その他	10	7
固定負債合計	2,306	4,638
負債合計	9,623	9,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	15,354	15,514
自己株式	△804	△804
株主資本合計	18,159	18,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,948	1,947
為替換算調整勘定	—	22
退職給付に係る調整累計額	32	27
その他の包括利益累計額合計	1,980	1,997
純資産合計	20,139	20,316
負債純資産合計	29,763	29,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	10,073	10,220
売上原価	6,597	6,889
売上総利益	3,475	3,331
販売費及び一般管理費	2,982	3,004
営業利益	493	326
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	184	196
投資有価証券売却益	167	544
その他	7	7
営業外収益合計	361	748
営業外費用		
支払利息	2	11
支払手数料	0	4
為替差損	—	6
その他	1	0
営業外費用合計	4	22
経常利益	849	1,052
特別損失		
固定資産除却損	2	12
投資有価証券評価損	0	0
事業再構築費用	—	85
特別損失合計	2	98
税金等調整前四半期純利益	846	953
法人税等	259	296
四半期純利益	587	657
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	587	657

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	587	657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△340	△0
為替換算調整勘定	—	9
退職給付に係る調整額	0	△5
その他の包括利益合計	△339	4
四半期包括利益	247	662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247	662
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、富留得客食品（上海）有限公司を当社グループにおける重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。